

学生からのメッセージ

自肅期間を通して
気づかされたこと

藤垣 大雅
(第5学年)

3月に予定されていた全日本歯科学学生総合体育大会が新型コロナウイルスの影響で中止になりました。4年間テニスに動んできた身なので、少なからずショックがありました。



しかし、テレビをつければ五輪延期や甲子園、インターハイの中止で涙を流す人達がいって、もつと言え、感染により亡くなる方や医療従事者をはじめ、飲食店経営者など、多くの人が悲痛の声を上げていました。それに比べたら、仕方のないことだと自分に言い聞かせていました。

4月、5月とオンライン授業が実施され、自宅待機の日々でした。正直、自肅期間は毎日に変化がなく記憶がありません。6月からは学校が再開されましたが、部活動や体育施設、グラウンドの使用は未だ禁止となっています。5年の私達は、夏で部活の引退です。後輩と大会を乗り越えることも例年なら会えるはずだった新人生と顔を合わせることもなく終わります。失ってから気づくことがあるとよく聞きますが、私は前期期間を通して辛かった授業や忙しかった実習などできなくなつてから恵まれていたのだと感じました。自分にとって当たり前になっていた毎日が、テニス部と離れて改めて部活動と部員一人ひとりの大切さに気づかれました。気づいたことを伝える機会や行動で示すこともできないことはとても寂しく思います。1つ下の後輩達には、自分達と同じ思いをしてほしくないで、1日でも早く恵まれていた日々に戻ることを願っています。

保護者からのメッセージ

求められる更なる対応力

林 邦治
(福岡歯科大学 学生後援会 評議員)

卒業後35年たちましたが、当時と現在の歯科界では色々な面で大きな変化があります。ただ歯を診る人間が必要なのは太古より変わ



りません。四千年前の古代エジプトや古代メソポタミアの遺跡から発見される歯の治療痕。我が国の室町時代にあつた噛める総入れ歯。幕末から江戸時代には、入れ歯師、歯抜き師が存在し、明治時代には「歯科」が確立されました。戦後はむし歯の多発時代で中学生のむし歯罹患率は、1980年代は90%を超えており、ほとんどの生徒がむし歯になっていました。90年代に入ると歯科業界のむし歯予防の努力もあり、むし歯は減少、う蝕のある生徒は約1/3になりました。今はインプラント、訪問歯科診療、多職種連携、歯からの食育、再生医療など私の卒業時の教科書には無かった内容が盛りだくさん。卒業生も在生も現在の厳しい歯科界への対応が求められています。何はともあれ先ずは国家試験合格、そして社会に出た歯科医師は医療界のみならず、日本の社会の中で、今まで以上に重要な立場を確立していくことが求められます。

New Sophia
コラム

秋桜

秋の青く澄んだ空にはコスモスが映える。秋桜と書いてコスモスと読ませるが、これはじつは造語という当て字。さだまさし作曲の「秋桜(コスモス)」を1978年に山口百恵が大ヒットさせて定着したといわれている。作曲者のセンスの良さが日本中で受け入れられたようだ。

福岡県内でコスモスの有名スポットといえば、まずは朝倉市のキリンビール工場のコスモス園が挙げられる。ビール麦の試験場の跡地に植えられた見渡す限りのコスモスを楽しむことができる。この一帯は、2017年7月の九州北部豪雨で30名を超える犠牲者が出て、今なお2名が行方不明となっている。この年も、ビール園ではコスモスが見事に咲き、現地の復興に力を添えてくれたよう。

「秋桜」の歌詞は、嫁いでいく娘を見送る母の悲しみを歌ったもの。卒業していく学生を見送る気持ちに通じるところもあるが、立派な成果を挙げてくれればその隙間は埋めてくれる。

(内藤 徹)



編集後記

新型コロナウイルス関連の暗い話題が多い中、明るい話題としていよいよ建替え工事の中の新病院が開院を迎えます。また、創立50周年を迎える2022年7月に向け、旧病院の解体工事と記念講堂の新築工事が始まります。新病院は4つのつなぐを掲げて開院しますが、ニューソフィアは今後とも読者の皆様と学園をつなぐよう取り組んでまいります。